

## 日本遺産旅行商品造成業務プロポーザル実施要項

### 1. 業務概要

(1) 業務名 日本遺産旅行商品造成業務

(2) 業務の目的

日本遺産「会津の三十三観音めぐり」と関係する福島復興祈念展「興福寺と会津展」を工程に含む旅行商品の反響が大きかったことから、祈念展終了後も継続した旅行商品の造成を行うことで、会津地域外における「仏都会津」の認知度向上を促し観光誘客に繋がることが考えられる。このことから日本遺産「会津の三十三観音めぐり」を主題とする旅行商品を継続して造成する。

(3) 業務の内容

①旅行商品の造成・販売

②アンケートの実施

③業務実績報告書の提出

(4) 履行期間 契約締結日から令和2年3月19日まで

(5) 業務に係る委託料上限額 200,000円以内（消費税及び地方消費税を含む）

### 2. プロポーザルを適用する理由及び効果

本業務の実施にあたり、仏都会津の魅力が伝わる旅行商品を造成し、広く募集を行うことが求められる。旅行商品には様々な行程が考えられるため、広く案を募集することにより、より効果的な業務実施が出来る業務委託者を選定するため、プロポーザル方式による業者選定を実施する。

### 3. 参加資格要件等

参加意向申出書の提出期限の日から契約締結までの間、以下の要件を満たしていることを条件とする。

①地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

②プロポーザルに参加する他の者と資本関係（親会社・子会社の関係等）又は人的関係（取締役等の兼務）がないこと。

③会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱（平成19年12月14日決裁）に定める排除措置対象者でないこと。

④前各号に掲げるもののほか、募集要項において求める要件を満たしていること。

#### 4. 募集から契約締結までのスケジュール

日程	時間	内容
9月12日(木)	—	募集開始
9月20日(金)	正午	質問受付期限
9月24日(火)	17時	参加意向申出書受付期限
9月26日(木)	17時	提案書受付期限
9月27日(金)	13時30分	選考委員会
9月27日(金)頃	—	結果通知
9月下旬	—	契約締結

#### 5. 質問方法

- (1) 受付期間 令和元年9月20日(金)正午必着
- (2) 提出場所 極上の会津プロジェクト協議会事務局(会津若松市観光課)  
〒965-8601 福島県会津若松市東栄町3-4-6  
電話:0242-39-1251 FAX:0242-39-1433  
メールアドレス:gokujou-aizu@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp
- (3) 提出方法 質問書(第2号様式)を事務局へFAX、電子メールまたは郵送で提出すること。  
FAXの場合は送付後事務局へ確認の電話をすること。  
※直接事務局へ持参した場合は受理しない。
- (4) 回答方法 質問書への回答については、随時行う。なお、質問者にはFAXまたは電子メールで回答することとし、併せてその内容についてホームページに掲載する。

#### 6. 参加意向申出及び辞退の方法並びに様式等の入手方法

- (1) 受付期間 令和元年9月24日(火)17時必着
- (2) 提出場所 極上の会津プロジェクト協議会事務局(会津若松市観光課)(5.(2)に同じ)
- (3) 提出方法 参加意向申出書(第3号様式)を事務局へFAXまたは郵送で提出すること。  
FAXの場合は送付後事務局へ確認の電話をすること。  
※直接事務局へ持参した場合は受理しない。
- (4) 辞退方法 参加意向申出書を提出した後に辞退する場合は、提案書の提出期限の日までに  
辞退届(第4号様式)を事務局へ郵送または持参で提出すること。
- (5) 様式等の入手方法  
参加意向申出書等の様式については、極上の会津プロジェクト協議会ホームページからのダウンロードにより入手すること。なお、郵送等による配布は行わない。  
(掲載場所)  
<http://gokujo-aizu.com/blog/c/offer>

#### 7. 企画提案書の提出及び作成方法

- (1) 受付期間 令和元年9月26日(木)17時必着
- (2) 提出場所 極上の会津プロジェクト協議会事務局(会津若松市観光課)(5.(2)に同じ)

(3) 提出方法 企画提案書を事務局へ持参または郵送で提出すること。

(3) 提出方法 企画提案書を事務局へ持参または郵送で提出すること。

(4) 企画提案書の内容

- ①会社概要・業務実施体制 ②類似業務の実績 ③業務に対する考え方 ④企画案 ⑤工程計画  
⑥見積明細書

(5) 企画提案書の様式

- (別紙様式1) 表題 (1枚)  
(別紙様式2) 会社概要書 (1枚)  
(別紙様式3) 業務実施体制 (1枚)  
(別紙様式4) 類似業務の実績 (1枚)  
(別紙様式5) 業務に対する考え方 (1枚)  
(任意様式) 企画案(行程案) (3枚以内)

(6) 企画提案書作成上の注意点

- ①企画提案書は、A4 判縦、片面、横書き、文字は 11 ポイント以上とすること。また、左綴じで 1 冊にまとめること。  
②書類等の作成に用いる言語、通貨及び単位は、日本語、日本円、日本の標準時及び計量法（平成 4 年法律第 51 号）に定める単位に限ること。  
③提案書の内容に不足がある場合、その項目は 0 点とする。

(7) 部数 8 部

## 8. 審査方法

(1) 審査体制

審査は、極上の会津プロジェクト協議会が依頼した 5 名の委員により組織された選考委員会が行う。

(2) 審査方法

提案書により、審査基準を基に審査を行う。

## 9. 審査基準

(1) 審査項目・配点

審査は、100点を満点とし、次のように審査項目別に配点する。

審査項目	配点
①業務の実施体制	10
②類似業務の実績	10
③業務に対する基本的な考え方	10
④企画提案の内容	50 (25×2)
⑤工程計画	10
⑥コストの考え方(見積価格)	10

## (2) 各項目の審査基準

### ①業務の実施体制

会社としての本業務を実施するにあたっての体制について審査する。

- ・業務を安定的に実施することができる体制が見込めるか。社内のサポート体制や、他企業等の支援体制は十分あるか。

### ②類似業務の実績

過去5年以内の観音巡り（他地域も可）関係の旅行商品や会津地域の旅行商品の造成実績から業務の実績について審査する。

- ・類似業務の元請実績を有しているか。

### ③業務に対する基本的な考え方

本業務を請け負うにあたっての基本的な考え方を審査する。

- ・業務に対する考え方が仕様書に合致しているか。

### ④企画提案の内容

具体的な企画提案の内容を審査する。

- ・「仏都会津」を含めた会津地域の魅力を感じられる内容か。
- ・コース内容はテーマ性を持った内容か。

### ⑤工程計画

工程を検証し、業務実施に支障はないか審査する。

- ・確実に履行できるスケジュールとなっているか。発注者側の意図を組み入れる機会が十分に設けられているか。

### ⑥コストの考え方（見積価格）

仕様に沿った価格が提示され、業務実施に支障はないか審査する。

- ・仕様に沿った価格提示がなされているか。

## (3) 評価点数

評価の際には、各項目の審査基準を参考とし、審査項目ごとに5段階で評価を行う。評価の際には「普通」を基準として、それよりもどの程度優れているか、劣っているかを判断する。

評価にはそれぞれ対応する点数を設け、当該項目の得点とする。

評価	配点が10/25点の場合の点数
大変優れている	10/25
優れている	8/20
普通	6/15
劣る	4/10
大変劣る	2/5

## (4) 注意事項

①委員への接触は、直接、間接を問わず禁じているので、万が一、接触があった場合には事務局に連絡する。

②評価については、提案審査の当日に行う。

③提案書審査及びヒアリングにおいて、提案者の提案作成技術又は説明技術等によらず、提案内容の優劣について審査する。

## (5) 受託候補者の選定について

委員の採点により、以下の条件に従い順次選定する。

ただし、全委員の平均得点が60点に満たない場合は要求水準を満たしていないとして、受託候補者として選定しない。

- ①過半数の委員において評価点の合計が最高である者
- ②①がない場合、各委員による評価点の合計が最高である者
- ③②が複数いる場合、企画提案に係る項目の評価点の合計が最高である者
- ④③が複数いる場合、提案金額の最も安価な者

#### 1 1. 失格条項

以下の事項に該当した場合は失格とする。

- ①提案書その他提出書類の提出期限及び提出方法を遵守しなかった場合
- ②提案書その他提出書類に虚偽の記載をした場合
- ③選考委員に対して、故意に接触を求める行為を行った場合
- ④事務局の職員から不正にプロポーザル又は選考に係る情報を得ようとし、又は得た場合
- ⑤前2号のほか、選考に影響を及ぼすおそれがあると会長が判断する不正な行為を行った場合
- ⑥その他選考委員会が不適格と認める場合

#### 1 2. 契約手続

本プロポーザルにおいては、本業務に適した提案者を選定するのみであり、契約を締結するまでは極上の会津プロジェクト協議会と契約関係は生じない。

極上の会津プロジェクト協議会は、委員会で選定された提案者との間で、仕様書の内容について企画提案書を踏まえた協議を行った上で、地方自治法第234条に定める随意契約の方法により契約を締結する。

その他、契約締結に当たっては、会津若松市財務規則等に基づき行う。

#### 1 3. その他留意事項

- ①企画提案書、質問書その他の関係書類の作成及び提出に要する一切の費用は、応募者の負担とする。
- ②提出した書類等の返還はしない。
- ③提出した提案書の書き換え、引き換え又は撤回することはできない。
- ④ヒアリングを指定された日時は厳守することとし、天変地異等のやむを得ない事情で遅刻、欠席する場合は、速やかに事務局まで連絡すること。
- ⑤提案者が1者しかいない場合においても、提案書及びヒアリングにより、受託候補者の選定を行う。
- ⑥本件の契約に係る一連の書類（契約締結、請求等）に使用する印鑑を使用し、委任先を設けている場合には委任先の代表者名で全ての書類作成を行うこと。